

第 563 回霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会 議事録

日 時	令和 6 年 8 月 6 日 (火) 午前10時20分	
場 所	土浦市真鍋 5 -17-26 土浦合同庁舎 本庁舎 第 1 会議室	
議 題	議題等 (1) 第 1 種区画漁業 (小割式養殖業) の免許について【諮問】 (2) 落とし網漁業に係る委員会指示の結果について【協議】 (3) トロール漁の漁模様について【報告】 (4) ワカサギ資源に関する取り組みについて【報告】 (5) その他	
出席委員	1 番 鈴 木 幸 雄 3 番 大 崎 匠 6 番 薄 井 征 記 10 番 太 田 牧 人 13 番 小 原 一 八	2 番 海 老 澤 武 美 5 番 相 崎 守 弘 7 番 鈴 木 友 子 11 番 鬼 沢 弘 明
欠席委員	8 番 理 崎 茂 男 14 番 加 納 光 樹	12 番 中 泉 義 美
県側出席者	農林水産部漁政課調整・漁船G係長 霞ヶ浦北浦水産事務所所長 〃 漁業調整課長 〃 漁業調整課係長 〃 漁業調整課主任 〃 漁業調整課技師 〃 主査兼振興課長 〃 指導課係長 水産試験場内水面支場長 〃 内水面資源部長 〃 内水面資源部首席研究員 〃 増養殖部技師	石川 健志 高橋 正和 横山 耕平 富永 佳子 谷中 周平 小熊 進之介 半澤 浩美 佐野 仁 根本 孝 小日向 寿夫 山崎 幸夫 高野 萌慧

事務局	事務局長 根本 隆夫 主任 武藤 晴香
傍聴人	なし
議事録署名人	11番 鬼 沢 弘 明      13番 小 原 一 八
議長	1 番 鈴 木 幸 雄
会議内容	開会 午前10時25分
根本事務局長	〔開会宣言〕 〔資料確認後、鈴木会長に挨拶を依頼〕
鈴木幸雄会長	<p>おはようございます。皆様にはお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>今年の梅雨は短く終わったみたいですが、毎日暑い日が続いています。7月の平均気温は2年連続で観測史上最高を更新したとのことでございます。皆様には、体調管理に十分気を付けていただきたいと思います。</p> <p>さて、トロール漁が解禁されまして、2週間余りが過ぎました。ワカサギは昨年より更に低調というような状況でございます。霞ヶ浦のシラウオは昨年を少し上回っているような状況に見えます。先週、行方市の水の科学館跡、漁協のすぐそばなんです、そこに動物園が開園したということでたくさんの方が来ているような状況です。また、観光客が増加しておりますので、地元水産物の消費が拡大されることを期待しております。</p> <p>本日の議題は、「第1種区画漁業（小割式養殖業）の免許について」の諮問ほか3題となっております。</p> <p>今後ともよりよい漁業を行っていけるよう、本日も皆様に活発な御討議をお願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。</p>
根本事務局長	〔県に挨拶を依頼〕
高橋所長	どうも皆様おはようございます。前回もですね、大変暑かったんですけども、本日も大変お暑い中お集まりいただきまして、感謝申し上げます。

す。

7月21日にトロール漁が解禁となりまして、霞ヶ浦北浦の漁業の本格的なシーズンが到来しました。後ほど、水産事務所と内水面支場の方からですね、解禁後の漁模様等について報告がございますが、事前の想定どおり北浦だけではなく、霞ヶ浦でも今期ワカサギ資源が大変厳しい状況でございます。私も解禁日に各浜を回り、漁模様を拝見させていただきました。シラウオのねらい操業ということもあったようですけれども、ワカサギはほとんど水揚げされておらず、厳しい状況を再認識した次第でございます。

一方で、このところ減少傾向にありましたシラウオは、霞ヶ浦でまとまった漁獲が続いており、明るい兆しが見えております。産卵期の親魚保護の徹底など、こうした取組が資源回復に繋がっていると認識しており、引き続き、取組等を実施していく必要があると考えております。

他の資源が厳しい中であり、難しい話ではありますけれども、シラウオ資源の有効活用が重要であると認識しております。

県としましては、資源管理を進めながら、貴重な資源であるシラウオの価値を高めるため、トップブランド化に取り組んで参ります。

また、こうした状況を踏まえまして、県では6月補正予算において、新たな収入源の確保を目的としまして、操業の多角化に取り組む漁業者への支援事業を今、実施しているところでございます。当事業には82名の漁業者が参加しておりまして、漁業経営の安定に繋がることを期待しております。

本日は、トロールの漁模様以外にも、第1種区画漁業の免許について諮問等をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

根本事務局長

続きまして次第3、議長の選出ですが、当委員会の会議規程第2条第2項の規定により、会長が議長を務めることになっておりますので、鈴木会長に議長をお願いいたします。

議長（鈴木幸雄会長）

それでは、議長を務めさせていただきます。

早速ですが、次第4の出席委員数の報告を事務局からお願いします。

根本事務局長

出席委員数を報告させていただきます。

本委員会の委員定数は12名でございますが、本日は9名の出席をいただいております。過半数を超えておりますので、漁業法第145条の規定

により本日の委員会が成立していることを御報告いたします。

鈴木幸雄議長

ただ今の報告のとおり、本日の委員会は成立しております。

鈴木幸雄議長

続きまして、次第5の議事録署名人ですが、私から指名いたします。  
11番鬼沢委員と13番小原委員にお願いします。

鈴木幸雄議長

それでは、次第6の議題に入ります。  
議題(1)の「第1種区画漁業(小割式養殖業)の免許について」です。これは県からの諮問となりますので、事務局から説明をお願いします。

武藤主任

(資料1-1 諮問文を朗読。)

富永係長

(資料1-1、資料1-2、資料1-2(参考)、資料1-3により説明。)

鈴木幸雄議長

ただ今の説明に御意見、御質問がございましたら、お願いします。

(委員)

(特になし)

鈴木幸雄議長

ありませんか。  
それではないようですので、県への答申についてお諮りします。  
諮問の内容に異議ございませんか。

(委員)

(「異議なし」との声)

鈴木幸雄議長

「異議なし」とのことですので、「原案のとおりで差し支えありません。」と県に答申することに決定いたします。

鈴木幸雄議長

続いて、議題(2)「落とし網漁業に係る委員会指示の結果について」です。事務局から説明をお願いします。

武藤主任

(資料2により説明。)

鈴木幸雄議長 ただ今の説明に御意見、御質問がございましたら、お願いします。

(委員) (特になし)

鈴木幸雄議長 ありませんか。  
それでは、御異議ございませんか。

(委員) (「異議なし」との声)

鈴木幸雄議長 異議なしとのことですので、議題2については、申請のとおり承認することといたします。

(委員) それでは次に進めたいと思います。

鈴木幸雄議長 続いて、議題(3)「トロール漁の漁模様について」、水産事務所と内水面の方から報告をお願いします。

半澤課長 (資料3-1(プロジェクター)により説明。)

山崎首席研究員 (資料3-2(プロジェクター)により説明。)

鈴木幸雄議長 ただ今の説明に御意見、御質問がございましたらお願いします。

10番太田牧人 (挙手)

鈴木幸雄議長 はい、どうぞ。

10番太田牧人 今、御説明あって、高い水温の中で予想されたこととはいえ、大変厳しい状況というのが分かったんですが、高温というかね、温暖化については全国共通のことで。例えばワカサギとシラウオについて、他の湖沼、例えば宍道湖とかね、浜名湖とか海に面してるような他の湖沼の状況なんか、分かる範囲で結構なんですが、教えていただければと思うんですが。

山崎首席研究員 ワカサギにつきましては、やはり夏の水温が高いと良くないということで、西の方、宍道湖については、何年前か、10年以上前ですか、夏に非常に水温が高くなった時期に、急に少なくなって、それ以降、資源が激

減して、漁獲が低迷しているという状況です。

それに対して、秋田、青森の全国1位、2位のところなんですけども、そちらの方は、特に夏の水温で影響を受けて、減っているということはないようです。

10番太田牧人      はい、分かりました。参考までに、そういう例えば宍道湖なんかで、ワカサギが減って、増えてる魚ってのはあるんですかね。ワカサギ、シラウオに代わって。

山崎首席研究員      それ以外の魚で、特にワカサギに代わって増えているということはちょっと聞いてないです。

10番太田牧人      わかりました。外来魚が増えてるとか、そういうことも含めてないんですね。

11番鬼沢弘明      ナマズが増えてるって言わなかった。

山崎首席研究員      宍道湖ですか。

11番鬼沢弘明      うん、宍道湖じゃなかった。全国的にいたなと思ったんですけど、何かニュースでそれ出てたと思ったんですよ。

根本支場長      琵琶湖ですね。琵琶湖で出現してきたという。

11番鬼沢弘明      宍道湖はないのか。

山崎首席研究員      宍道湖の方は塩分がかなりあるところなので、ナマズがそんなに増えているということはちょっと聞いていないです。

10番太田牧人      ありがとうございます。ワカサギ、シラウオ等に代わって、有用魚種が増えてね、ということがあれば、この調整委員会なんかも関与して、いろいろ振興策なんかも考えられるんですが、特に何か有用魚種が増えてるって話はないわけですね。はい、ありがとうございます。

2番海老澤武美      (挙手)

鈴木幸雄議長

はい、どうぞ。

2番海老澤武美

ちょっとお聞きしますが、北浦は2018年から不漁で、今年で6年目ですが、これ何が原因で温暖化だけが原因なのかどうかってことは、私は分かりませんが、原因があるからこういう現象になってると思うんですが。

先日、環境科学センターの方が来て、酸素の調査を北浦でしたいということなので、ああお願いしますと言いました。でも酸素の測定は、漁協でもできますし、ただ、湖底の北浦の湖心の泥の中の状況が、10mあった湖心の湖底が今は7mと。そうすると湖の底の土は、また生き物はどのような変化が生じてるのか。霞ヶ浦と北浦ではちょっと状況が違い、霞ヶ浦ではまだまだシラウオ40kgぐらいずつ獲れてるようですが、北浦はもう商売にならない、2kg、3kgそのようになっておりますので、これはずっともう6年間違うわけですよ。全然環境が違うと思うんです。

そういうことで、分かる範囲で、もしお願いできれば、所長にもね、茨城県の環境対策課に、北浦の釜谷沖の一番深いところの湖底が、5年前、10年前とどのような変化が生じてるのか、調査をお願いしたいと。この間、環境科学センターの来られた方にもお話をしましたけど、口頭でね。

でも、このまま6年経っても漁業再生は難しいし、どんどん厳しい状況になってる。対策が何もできないのか。このまま漁業者は、廃業しなければならないのか、漁業組合はなくなってしまうのか。そういう懸念があるわけですが、その辺に対して、誰か、所長話してもらえれば、簡単でもいい。

いや、いろいろ対策はとっていただいているのは分かりますが、これ深刻な私たちは生活がかかってますので、組合の中でも私は組合長やってますから、茨城県はこのようにお話してるとか何かそういう話をしないと、組合長は役に立たないだなんて、お前やめろよというような。何とか私も力一杯、精一杯、霞ヶ浦北浦のために働きたいと思っておりますので、何らかアドバイスなり知恵をつけていただきたい。

また、環境の問題がかなりこれは避けて通れない。そういうことも私たちは考えますので、そういう環境の方のお願いと、ちょっと今後、どのように北浦の漁業に対して御支援いただいていくのか。前浜造りと、いろんなことをやっていただいておりますけども、それはそれでね、ありがたいと思っております。なかなかテナガエビにしても、魚体が大きくならないで小さい状態で卵を産んでいる、北浦に対してはエビもなくなってしまう

た。そういう中で、期待できるものが何もなくなってきたわけですから、何かしら、これがこうだっというはっきりした回答じゃなくても、こういうふうに持っていきたいとか、こうしていけば変わるんじゃないかなというような話でも結構ですから、お願いしたいと思います。そうすれば、私も漁業者の皆さんに、今こういうふうに進めていますよ、ということをお話できるわけですから、よろしくお願いします。

高橋所長

はい、水産事務所の高橋です。湖心の底の調査の関係ですけども、環境センターの方に組合長からお話されたということなので、どういう話をされたか確認させていただきたいと思います。

あと、ワカサギの資源、かなり今厳しい状況で、一番大きいのは、水温だということで、先ほども比較したグラフがあったと思うんですけども、温暖化で、水温がかなり強いファクターだということで、そこは漁業じゃなかなか獲れないんだけども親資源を少しでも、後から話をしますけれども、資源を少しでも守っていかうということで、内水面支場でも、親を確保するために飼ったりしているところです。

ワカサギの方はもうなかなかそういった環境、前浜の造成とかをしながら、親も守りながら、そういうときがくるのを、まずは待つしかないかなと。

そこで、我々の方も今年の6月の補正予算で、経営が厳しいというところもあったので、主要とされているトロールを操業している方を少しでもちょっと経営をですね、支援していこうということで、今、事業を実施させていただいているところです。

あとは、その主要資源がなかなか厳しい状況なので、今増えているアメリカナマズだとかハクレンだとか、そういったものも少しでも、今価値がない、価格が、単価が低いので、少しでも単価を上げて、漁師さんの収入に繋がるよう、今年は食用化に向けて取り組んでますし、これまでも、回収事業とかそういったもので支援をさせていただいているところでございますので、そういった取組をしながら、ワカサギが増えてくるところを、待っていくしかないかなとは思っております。

2番海老澤武美

はい、ありがとうございます。

本当に前浜の工事を進めていただく、この工事はもう最適だと私も思います。

そして、あともう一つは、今所長が話されたような、未利用魚回収だと

か、今できること。何もしないで手招いて、魚は獲れないから、何もしないで生活ができませんから、そういう未利用魚回収とか、この度トロール漁においても、支援事業をね、予算を作っていただきました。これもありがたいことだと思います。

そういうことも今後とも、計画をしていただきまして、内水支もしっかりと今進めているところでありますので、環境面でも幾らかずつでも、直せる部分があれば直していただいたり。また、魚道の問題も、1月、2月あたりの魚道もね、開放してもらおうような、水門ではなくて魚道を1月、2月だけでも開けてもらおうような、そういうこととか、今後ともそういう方向で、茨城県の方でもやっていただけるということですので。そのように私ども、北浦の大変な厳しい状況の中で、やっぱり委員会でもそのような話をしているようなこととお話しさせていただきますので、今後とも御指導よろしくお願いします。ありがとうございます。

鈴木幸雄議長

他にございませんか。

それでは今の、ちょっと北浦の話が出たんであれなんです、先ほどちょっと小原さんとお話していたときにね、今年何か北浦の方でハクレンがあんまりないというような話を聞いたんですが、霞ヶ浦は私も組合長やってるので、大体霞ヶ浦の様子は分かるんですが、北浦のその外来魚の状況ってのは、どんなふうなんですか今。霞ヶ浦と同じような感じなんですか、アメリカナマズとかハクレンとか、外来魚に関してはどうなんですか。

2番海老澤武美

東日本大震災で放射能の関係で、未利用魚とかハクレンとか処理するのに、行方市は処理できるんですが、その他銚田市、鹿嶋市は処理場がなくて、茨城県の方でいろいろ遠くに探していただいたんですが、地元の業者もなかなかそこまで追いついていけなくて、北浦でも大和支部と北浦支部の二つの支部だけは、行方市の環境美化センターに処理していただきましたので、行方市はできたんですが、そういう関係上、ハクレンも、張網の未利用魚も、今は飼料会社に回収していただきますから張網の場合は、やってます。そういう中であって、北浦の方は、未利用魚の枠がなくなってしまったんですよ。放射能の関係のときに。今お願いして、少しずつ増やしていただいておりますが、その関係で、その予算の面で、今お願いしているところでございます。だから、もう少しその未利用魚回収に対しての予算を膨らましてもらえれば、北浦も助かるところであります。

枠増やしてもらってね、検討しますと漁政課でも言っていました。

山崎首席研究員 (挙手)

鈴木幸雄議長 はい。

山崎首席研究員 はい。内水支の方で、去年から張網の調査ということで、漁業者の皆さんに御協力いただいて、年4回、霞ヶ浦北浦で3箇所ずつで調査をしています。

外来魚がどうかというと、やはり一番多いのはナマズ、アメリカナマズが一番多くて、重量でいくと半分以上がアメリカナマズが占めているような状況です。それについては、霞ヶ浦も北浦も同じような状況で、一番多いかなと思います。

あと、最近多いのはやっぱりスズキが結構多くて、どちらも増えているかと思っています。あと、比較的多いのが未利用魚になってしまうんですけども、フナ、フナも入るときは入るということで、そういう状況で、特にナマズが多いというのは、変わらないかなと思います。

鈴木幸雄議長 あと霞ヶ浦の場合は、最近ダントウボウがかなり増えてきてるんですが、北浦あたりはその辺はどうなんですか。

山崎首席研究員 北浦の方でもやはりダントウボウが少し見えていて、量的にはそんなには増えてないんですけども、やはり霞ヶ浦と同じように入ってきてます。

鈴木幸雄議長 他に何かございますか。

(委員) (特になし)

鈴木幸雄議長 それではないので、次に進みたいと思います。

続いて、議題(4)「ワカサギ資源に関する取り組みについて」、内水面支場から報告をお願いします。

小日向部長 (資料4-1 (プロジェクター) により説明。)

高野技師 (資料4-2 (プロジェクター) により説明。)

鈴木幸雄議長 ただ今の説明に御意見、御質問がございましたら、お願いします。

11番鬼沢弘明 いいですか、はい。

鈴木幸雄議長 はいどうぞ。

11番鬼沢弘明 いつもワカサギに関しては産卵が大事なような形で、産卵を一生懸命やってる状況なんですけど、やっぱり育てるまでいってないんですよ、話がね。育てて産卵するまで、自然で産卵するまでを考えていただければと思うんですけど。なぜかっていうと、やっぱり霞ヶ浦北浦においても、障害物的な物がほとんどないんですね。昔は小漁で笹浸とか、杭とかいろいろあったんですけど、今、魚が隠れる場所がないんですよ。そういうところでやっぱり、アメリカナマズにしても全部獲りきれんっていうことは、ほぼ不可能でありますし、やっぱり逃げる場所が一番大事じゃないかと思うんですね。

水温に対しても、水温は高いんですけど、やっぱり日陰になる人間でいえば日よけ傘ですね、そういう物をワカサギが欲しがってるっていうことも考えられると思うんで、やっぱり産ませて、育てて、一生を終えるような環境を何とかみんな考えていただきたいなと思います。以上です。

鈴木幸雄議長 今の質問に対して所長、何かあれば。

高橋所長 その件も、前浜ですけど、この話ばかりになってしまうんですけども、前浜造成とか国の方も、そういった昔の湖岸に戻すというふうなことをやっていますので、経過を見るしかないかなということで。国も県の方もそういった環境が大事だということで、そういった取組をですね、やっているとところだと思います。すぐに全部解決するっていうわけではないと思いますけれども、そういったものを計画的にですね、やっているところです。

11番鬼沢弘明 何でこれ言うかっていうと、昔から産卵はするって、水産事務所も水産試験場の方も分かると思うんですけど、毎年自然産卵もしてたんですよ、人工孵化させる前からね。だけど、ワカサギいなくなっちゃうんです

よ。それはワムシがない。前浜っていうのはその小さい魚、卵から孵化させるところの場所ですよね。ですけど、大きくなって形になって、他の肉食魚から身を守るのには、結局、何も無いところではいずれ捕まりますよね。

木があれば木の後ろに隠れるっていうのも、動物でいえばありますし、今本当にそういうところがないんですね、霞ヶ浦に関してはね。もうほとんど全滅、底を引いてもどこも引っかからないんじゃないかっていうぐらいですね。

五町田から今宿のちょうど橋門干拓の沖に、大きい場所、ささびて場(笹浸漁場)があったんです。これは何 km ぐらいあったかなあ。5 km ぐらいありますか、そのくらい大きいささびて場もあったんですね。

それが、ほとんど今中に入ってもきつぽろ(木くず)ぐらいしか、のまっちゃった(埋まってしまった)やつがね、あるぐらいで、それも完全に今やってる人がもう10年以上やってないもんですから、亡くなっちゃってるしねえ。結構魚も、そこ寄さってる場所でもあったんですね、最近ではね。

高橋所長

笹浸漁業ですか。

11番鬼沢弘明

そうですね笹浸ですね。やっぱりそれに限らずね、隠れる場所って木自体もないんですよ。やっぱり木があれば、日陰ってありますよね。陽が当たってる方は、全部に当たってるわけじゃないんで、裏がありますから。やっぱり小魚に関しては大きい魚に追い回されれば、いずれ捕まる、逃げる場所がないんで捕まるっていうことになりますよね。そういうところでやっぱりなんかそういうものがないかなっていう、みんなの知恵を借りたいなとは思ってますけどね。

高橋所長

前浜造成もだんだん植物がこう土がついてきて、大きな木がこう、生えているところもあると思うんですけども、だんだんそういうふうになって行けばいいと思います。

11番鬼沢弘明

今、水の状況もあんまり良くないんでヨシもだんだんなくなってる状態ですから、栄養分的なものもどうかなっていうのはありますよね。

高橋所長

漁師さんの数も減ってきて、そういった笹浸とかをやる漁師さんがい

なくなっている。

11番鬼沢弘明

若い人はやらないですから。昔小漁的にやってたんですよ、寒中の仕事としてね。ですから、毎年、寒中の仕事として3月、4月ぐらいに笹浸を入れるようにしてたんですよ、作ったやつを置いて、あつたかくなる頃に、かわ（湖）の中に入れてたんですよ。

よく、新しいぼっちにウナギとか、エビなんかが入るんですよ。やっぱ新しいのに敵わなかったですね。だからその人は毎年やってたんですけど、もう10年以上やってないですからね。そういう人がいなくなっちゃいましたから。だからそういう障害物的な物もね、何とか、入れることが可能かなあとは思ってますけど。

鈴木幸雄議長

他に何か。

5番相崎守弘

(挙手)

鈴木幸雄議長

はい、どうぞ。

5番相崎守弘

二つあるんですけど、今の意見に関連して、海の方では、魚礁を入れてますよね。ああいうのを試みとして、何か実験的にでもね、やってみたらどうかなというふうな気がするんですが。特に、湖岸沿いのところで、今湖岸反射波が大きくて、泥が全部溜まらないで沖に押し出されてるんですよ。その反射波を弱めるような効果もあるし、魚の隠れ場所にもなるような、うまい具合の魚礁の形を工夫して、そういうのを置いてみたら、ちょっとその結果をちょっと検討してみたらいかがかなというふうに思います。

それともう一つ桜川の方で、産卵が確認できたってということなんですけども。多分そこで結構生まれてるんじゃないかなと思うんですが、そこら辺、具体的に産卵場所として整備していくような計画まで持っていけそうかどうかということと。あと、桜川漁協さんが結構ずっと調べてるんじゃないかなと思うんですけど、その辺との情報交換みたいなのがあるかどうか、お聞きしたいんですけど。

根本支場長

内水面支場の根本です。委員さんから御質問がありました魚礁についてはどうかということにつきましては、昔から、今鬼沢委員さんにもあり

ましたように、笹浸という漁具には魚が蝸集する、エビが入ると。小魚が蝸集するという効果があって、それが外来魚にも食べられないという機能も併せて持っているというのがありました。

そういった性質を利用してですね、今、県では水生植物帯の造成を、ずっとやっていますけれども、その前にはですね、エビを中心としたエビの魚礁というものを設置していました。

このように資源の低下している状況なので、県としてはエビをメインの対象としてですね、貧酸素水塊からも逃げられるようにですね、魚礁構造による漁場改善でしょうか、そういうことを計画しておりまして、そのようなモデル施設で、効果を調べているところでもあります。そういった効果がはっきりしましたら、そういったものの事業化に向けて考えていきたいと思えます。

設置場所については、沖ではトロールの操業もありますから、その辺の操業の影響のないような、湖岸に近いところへの設置場所ということも考えている最中でございます。

川の調査については、これまで非常に少ない調査結果しかなかったんですけど、今回桜川を調べましたら、きちんと産んでいることが、分かったと。昔はですね、桜川の下流の方でも人工孵化のワカサギを集める所があったというふうな記録もありますから、魚が産卵期に上ってくるといことは間違いないと、卵産んでいることも今回分かりました。

今後この環境をですね、ちゃんと造っていけるかどうかについては、河川管理者とも協議をするなどして、将来そういうことが可能かどうかということは、大事な検討材料かなというふうに考えています。

鈴木幸雄議長

他に何かございますか。

(委員)

(特になし)

鈴木幸雄議長

それではないようでしたら、続いて、議題(5)「その他」について、県の方からどうぞ。

小日向部長

内水面支場の小日向です。前回の委員会で、鈴木会長から、近年、霞ヶ浦北浦の窒素、リンのバランスが崩れてきているといったことはないのか、と御質問いただきました。霞ヶ浦環境科学センターから窒素、リンのデータを入手しましたので、御報告したいと思います。

まず、この窒素、リンにつきましては、植物プランクトンの重要な栄養となる物質でございます。

窒素、リンの比率、これはN/P比と研究の世界では言われ、研究されておりますが、その比率の変化が湖沼に出現するアオコの原因になる藍藻類などの植物プランクトンの種類の変化と関係があるということが、これまで研究されてきております。

こちらに示しましたのが、霞ヶ浦環境科学センターからデータ提供を受けまして、窒素とリンの比率を算出したものです。昭和47年から直近までの霞ヶ浦北浦の比率の変化を示してございます。これを見ますと昭和年代から平成の初めにかけては窒素とリンの比率が高く、さらに変動も大きいことがわかります。

一方、それ以降は低く推移しておりまして、平成20年度は少し高くなるような時期もございましたが、近年は低い値かつ横ばいで推移してる状況でございます。窒素とリンのバランスが近年崩れていないかとの御質問に対しては、これを見る限り、大きな変化は見られていないというふうなことになると思います。以上、御報告まで。

鈴木幸雄議長

はいありがとうございました。

ただいまの説明に対して何か御質問ございますか。

(委員)

(特になし)

鈴木幸雄議長

それではないようでしたら、報告の方、どうもありがとうございました。県の方からは何かございますか。

鈴木幸雄議長

それではないようですので、委員の皆様の方から何か御意見等ございましたらお願いいたします。

(委員)

(特になし)

鈴木幸雄議長

それでは、委員の皆様から意見ないようですので、以上をもちまして本日の委員会を終了したいと思います。皆様の御協力により、円滑に議事進行できました。ありがとうございました。

根本局長

長時間にわたりまして御審議いただきありがとうございました。

次回開催は本日付けの事務連絡のとおり、10月11日を予定しております。議題については、改めて御案内申し上げます。

また、その次の開催は、12月に視察研修も兼ねて、常陸川水門での開催を予定しております。日程はまだ調整中ですが、今のところ12月の前半を考えています。これについても、改めて御案内申し上げます。

それでは、これもちまして委員会を閉会といたします。

閉会 午前11時55分

上記の記録の正確なことを認め署名する。

令和 年 月 日

議 長

---

議事録署名人

---

---